



躍進する市内のまちなみ。市制後初の新年を迎えた向日市。将来の住みよいまちに向けて、これから一年歩んでいきます。上の絵は市立第二向陽校 新田一久君の絵です。

躍進する向日市

明るいまちづくりを推進

福祉行政に力こぶ

向日市長 中山 仙三



市民のみなさんには、輝かしい昭和四十八年の新春を、新しい希望と抱負を胸に、ご家族おそろいで迎えられることと存じ、お喜び申し上げます。

本年は、向日市にとっても、市制施行後、初めての新年を迎えたわけで、誠に意義深い年であります。

七十年代は、激動の年といわれておりましたが、経済繁栄のなかで環境破壊、人間疎外など多くの重要な課題をかかえ、ことしも物価高、交通事故、公害、住宅難など、暮らしをとりまく環境は、ますますきびしさを増すものと思われまふ。

わたくしは、地方自治の精神を市政に徹底し、清潔で明るい行政の推進を軸とし、住民の健康を高める行政、住民の生活周辺の環境を整備する行政、文化と福祉を充実する行政を三本の柱として、四万市民の期待に応えたく存じています。なかでも福祉行政はあらゆる行政の原点であり、人間尊重、生活優先の原則をつらぬいて、市民本位の市政に努力を傾注いたす所存であります。

しかしながら、地方財政の現状は、ますます急迫の度を加え、わたくしたちのまちづくりの前途ははなはだけわしいものがありますが、つねに前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思ひます。

住みよい都市を築くため、まちづくりの基本構想の前進をはかるとともに、一方では、広域的な立場で、行政の効果を期したいと存じます。さらに、京都府や隣接市町との協調を強め、明日の豊かな向日市をめざして、総力をあげて努力する覚悟であります。

市民のみなさんの一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、みなさんのますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとします。